

# いわみざわ 市議会だより



6月24日～7月9日にいわみざわローズ  
フェスタ2017が開催されました。  
バラ園管理スタッフの作業風景です。

## 今号の主な内容

- 議長・副議長の選挙（第1回臨時会審議結果） …… 2
- 公立高等学校配置計画の見直しについてなど  
52議案を審議（第2回定例会審議結果） …… 3
- 9人の議員が市長、教育長に市の一般事務  
について質問（一般質問） …… 4
- 政務活動費収支報告 …… 9
- 議会の構成が決まりました …… 10

# 平成29年第1回臨時会（5月19日／会期1日）

## 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第38号	岩見沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第39号	岩見沢市議会委員会条例の一部改正について	〃
選任第1号	常任委員会委員の選任	選任
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	〃
辞職第1号	議長の辞職【笹島 清一氏】	許可
選挙第1号	議長の選挙【井幡 修一氏】	当选
辞職第2号	副議長の辞職【大坂 龍起氏】	許可
選挙第2号	副議長の選挙【古石 英仁氏】	当选
選挙第3号	桂沢水道企業団議会議員の補欠の選挙 【大坂 龍起氏・笹島 清一氏・峯 泰教氏】	〃
選挙第4号	空知教育センター組合議会議員の補欠の選挙【平野 義文氏】	〃
選挙第5号	岩見沢地区消防事務組合議会議員の補欠の選挙 【齊須 正友氏・篠原 藤雄氏・豊岡 義博氏・大和 勝氏】	〃
選挙第6号	南空知ふるさと市町村圏組合議会議員の補欠の選挙【井幡 修一氏】	〃
議案第40号	監査委員の選任について【篠原 藤雄氏】	同意
議案第41号	固定資産評価員の選任について【下野 和義氏】	〃
決議案第2号	地方創生特別委員会の設置に関する決議の一部変更について	原案可決
決議案第3号	新庁舎建設特別委員会の設置について	〃

### 正副議長就任あいさつ



議長 井幡 修一



副議長 古石 英仁

このたびの議長選挙におきまして、議員各位の皆様方のご支援を御賜りまして当選人となりました。このことにつきまして、私自身にとりまして身に余る光栄であると同時にその責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今、岩見沢市は、予想を上回る急激な人口減少問題を初め、中心市街地の活性化や基幹産業、農業の振興などさまざまな難問が山積をしております。

執行機関と議会が一体となり、岩見沢発展に取り組まなければならぬ重要な時期でございます。

常に市民目線で市民のために開かれた中立公正かつ円滑な議会運営に当たるとともに、課題解決に取り組み覚悟であります。

また、市民の代表としての役割と責務の重大さを認識し、市民の信頼と負託に応えるため、市民の声を生かす議会、わかりやすい議会、身近な議会を目指し、取り組みを進めていく決意であります。

議員各位のご指導、ご協力をお願い申し上げますとともに、不断の努力をお約束をし、就任に当たりましてのご挨拶といたします。

ただいま、大変多くの議員の方々からご信任をいただきまして副議長に就任をいたしました。

私としては大変光栄であり、また、心から感謝を申し上げる次第であります。

今現在、岩見沢市はもとより、地方を取り巻く情勢は大変厳しい状況になっておりと理解しております。人口減少、少子高齢化、そして、医療、介護などの福祉問題と多くの諸問題が山積をしております。そのような問題に対しても、地域の特性を生かしながら、一つ一つ解決をしていかなければならないと思っております。

また、市長を初め、理事者の皆さんとは、議会において、適度な緊張感を保ちながら議員の皆様方のご協力をいただき、職務を全うしたいと考えている次第でもあります。

これからは、議長を補佐しながら、ともに議会運営をスムーズに行い、市民に信頼される議会として努力していく所存であります。

以上を申し上げます、副議長就任の御挨拶とさせていただきます。

# 平成29年第2回定例会（6月12日～6月23日／会期12日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第42号	岩見沢市税条例等の一部改正について	原案可決
議案第43号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第44号	岩見沢市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例等の一部改正について	〃
議案第45号	岩見沢市病院事業経営審議会設置条例の廃止について	〃
議案第46号	岩見沢地区消防事務組合理約の変更に関する協議について	〃
議案第47号	工事請負契約の締結について（平成29年度中央小学校改築主体工事）	〃
議案第48号	工事請負契約の締結について（平成29年度中央小学校改築電気設備工事）	〃
議案第49号	工事請負契約の締結について（平成29年度中央小学校改築機械設備工事）	〃
議案第50号	平成29年度岩見沢市一般会計補正予算について（第1号）	〃
議案第51号	平成29年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について（第1号）	〃
議案第52号	平成29年度岩見沢市下水道事業会計補正予算について（第1号）	〃
議案第53号～ 議案第88号	農業委員会の委員の任命について【佐々木利夫氏・柳谷春夫氏・宮崎裕治氏・黒田芳明氏・野文明氏・山谷康雄氏・中林強氏・干場克二氏・宇井正明氏・町田透氏・西谷内智治氏・道下智義氏・尾田憲朗氏・戸田憲一郎氏・志賀野敏氏・池田明博氏・山田辰弘氏・木下幸彦氏・森一男氏・森本英世氏・渡辺亮二氏・前田善治氏・倉田真二氏・吉成朗氏・坂啓一氏・馬場広之氏・日笠和良氏・籠島和義氏・長井眞一氏・引頭一宏氏・井川和也氏・伊藤俊春氏・近田昌枝氏・米内山裕子氏・柿崎壽恵子氏・小倉和敏氏】	同意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について【石尾 秀逸氏】	〃
意見書案第4号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化について	原案可決
意見書案第5号	雪崩遭難者救助対策の推進について	〃
意見書案第6号	国の教育予算をふやして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立について	〃
決議案第4号	「公立高等学校配置計画案（平成30年度～32年度）」の見直しについて	〃

第2回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 地球と人間を守る社会体制創りの為の地球社会建設決議について
- アイヌ政策に関する取組について
- 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の採択について
- 新たな高校教育に関する指針の見直しについて
- 特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編成基準の改善について
- 国の責任による35人以下学級の前進について
- 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立について

## 公立高等学校配置計画案の見直しを求める決議を可決

北海道教育委員会が本年6月6日付けで公表した「公立高等学校配置計画案(平成30年度～32年度)」は、空知南学区については、平成32年度に岩見沢農業高等学校において1学年7学級を6学級に削減することが示され、地域の教育環境等に与える影響が大きいと見られ、岩見沢市議会はこの計画案の見直しを強く求め、6月23日の定例会最終日に決議案を上程し、全会一致で可決しました。

※可決した意見書案・決議案は、市議会ホームページでご覧になれます。

### 全国市議会議長会表彰

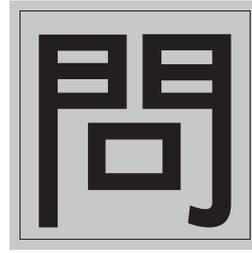
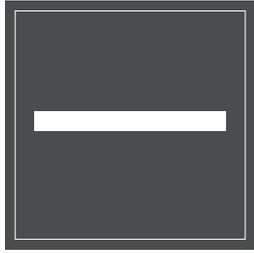
全国市議会議長会会長から、議員活動10年以上の功績として大坂龍起議員が、議員表彰を受けられました。  
また、笹島清一議員が全国市議会議長会産業経済委員会委員を務められた功績により感謝状が送られました。



大坂 龍起議員



笹島 清一議員



## 一般質問を行いました。

9人の議員が市長、教育長に市の一般事務について質問を行いました。  
紙面の都合上、各議員の質問中、1項目を要約し掲載いたします。

### < 会派別所属議員 > ※…◎は会派代表者 ○は幹事長

- 市民クラブ / ◎大坂龍起 ○峯 泰教 豊岡義博 伊澤幸信 井幡修一 太田博之 篠原藤雄 平野義文 増山宣之
- 政和会 / ◎谷口洋一 ○石黒武美 野尻 清 笹島清一 榎館竜哉 古石英仁 大和 勝
- 日本共産党議員団 / ◎上田久司 ○山田靖廣
- 公明党 / ◎酒井和子 ○齊須正友
- 無所属 / 池島和行

### 一般質問項目一覧※大項目のみ掲載

#### 1 野尻 清（政和会）

- ① 中心市街地活性化
- ② 特別の教科 道徳

#### 2 池島 和行（無所属）

- ① バラのまちづくり推進事業
- ② 新規就農対策

#### 3 酒井 和子（公明党）

- ① 交通安全対策
- ② 色覚障がいなど色弱者に配慮した政策
- ③ 公営住宅の新たな展開
- ④ 性的マイノリティ

#### 4 大和 勝（政和会）

- ① 安心・安全に暮らすための地域の見守りへの考え方
- ② パラリンピック合宿誘致のまちづくりへの活用

#### 5 増山 宣之（市民クラブ）

- ① 都市計画マスタープラン
- ② 中心市街地の現状と活性化対策の展開
- ③ 障がい者福祉への取り組み

#### 6 榎館 竜哉（政和会）

- ① 公共施設マネジメントの進捗状況等とスポーツ施設の整備

#### 7 齊須 正友（公明党）

- ① 不適切な事務処理や不祥事
- ② 食品ロスの減量化
- ③ ごみの不適正排出の開封調査

#### 8 山田 靖廣（日本共産党議員団）

- ① マイナンバー制度
- ② 生活保護行政

#### 9 上田 久司（日本共産党議員団）

- ① バス路線の再編と今後の公共交通等
- ② 入札制度と談合情報への対応

# 特別の教科 道徳について



政和会  
野尻 清

——①なぜ「特別の教科 道徳」として教科化されるのか、その狙いは。②「現状の「道徳の時間」の授業とどのような点が変わるのか。③児童生徒に対し育てたい力はどのようなものなのか。④道徳科における評価は何を基準にどのような方法で行われるのか。

## 教育長

①生命を大切にすることや他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身につけることは、大変重要なことであり、これまでも教育活動全体において道徳教育が推進され、中でも「道徳の時間」がその要としての役割を果たしてきたが、学校現場において、これまでの道徳の授業では指導法や内容にばらつきが見られたことや、道徳教育は学校の教育活動全体で行うという点が重視され、道徳の授業に重きが置かれてこなかったという課題が指摘されてきた。

また、いじめを防止するために、人間性に深く迫る教育を行うことや、児童生徒が高い倫理観を持ち多様な価値観を認め、より豊かな人生を送るための資質・能力を育成することが、道徳の教科化の狙いとして位置づけられている。

②これまでは、児童生徒の発達段階を踏まえた内容や指導方法となっていなかったり、主題や狙いの設定が不十分で、形式的で価値の押しつけとなる指導が行われていた例が指摘されており、このような状況を踏まえ、多様な価値観を持つて問題を考え続ける姿勢を育てることこそ、道徳教育で養うべき基本であり、自身自身の問題と捉え、多面的・多角的に考え、議論していく授業へと質を転換することが求められる。

③道徳の授業の中で、日常や実社会の出来事の具体的な事例を取り上げ、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を適切に取り入れることによって、児童生徒が主体的に考え、議論し、協働して、より深く学ぶ力を育んでいきたいと考えている。

④評価に当たっては、数値によるのではなく、記述式とすること、個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえて評価すること、他の児童生徒と比較するのではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受けとめて認め、励ます個人内評価として行うこととなつていく。

# バラのまちづくり推進事業について



無所属  
池島 和行

——いわみざわ公園バラ園の魅力をさらに周知するための情報発信の考え方は。

## 市長

平成6年にオープンしたいわみざわ公園バラ園は、その広さやロケーション、品種の多さなどに加え、1年を通して花や緑を楽しむことができる室内公園「色彩館」を開設するなど、その充実度は全国的に見てもトップクラスであると考えている。

また、平成25年、全面的にリニューアルした際には、耐寒性に優れた、本州などではあまり見られない品種を積極的に取り入れたほか、まだ始まったばかりではあるが、化学農薬に頼らない、木酢液等を用いた自然に優しい育成管理に努めており、小さなお子様やお年寄りを初めとして、訪れる方々だけでなく、バラ園スタッフの健康にも十分配慮するものとなっている。これらの特色については、バラ園のリーフレットやホームページなどでも紹介させていただいているが、SNSなど、来園された方々による多様な情報発信を通じて、広く知っていただけるよう、近年ニーズが高いフリーWiFiを

設置したり、公園スタッフが、みずからブログやフェイスブック等を活用して、開花状況やイベントなどの情報発信に努めているところである。

今後においても、いわみざわ公園バラ園を、より多くの方々知っていただくとともに、来園された方がリーダーとなっていただけるよう、指定管理者はもとより、岩見沢市観光協会を初めとする関係団体と連携を図りながら、バラ園の魅力向上と国内外への情報発信の充実に取り組んでまいりたいと考えている。



## 性的マイノリティについて



公明党  
酒井 和子

①パートナースhip制度導入について、市長の考えは。②健康教育の視点から性的少数者を考える、LGBT教育のあり方について、教育長の見解は。

### 市長

①価値観が多様化する現代社会の中で、性の多様性が認められ、あらゆる差別や偏見から解消される社会、人権が尊重され、お互いに認め合い、自分らしく生きることのできる社会の実現が望まれていることは、十分理解しているので、パートナーシップ制度導入については、全国的な制度の広がりや、市民の性的マイノリティへの理解などを考慮し、判断したいと考えている。

### 教育長

②平成27年4月の文部科学省通知には、性同一性障害に係る児童生徒についての具体的な配慮事項などや、児童生徒の悩みや不安を受けとめる必要性は、いわゆる「性的マイノリティ」とされる児童生徒全般に共通するものという見解が示されている。

LGBT、いわゆる性的マイノリティについて、管理職を初め全ての教職員が研修などを通して、正しく理解し、対象となる児童生徒には、校内相談体制の充実や教育支援セン

ターの活用、医療機関との連携などにより組織的に支援することが重要であり、各学校に対しては、必要に応じて児童生徒のサポートチームを設置するなどし、いかなる理由でもいじめや差別を許さない適切な生徒指導や人権教育を推進するよう指導したいと考えている。

性的マイノリティに対応する教育については、大学等における先進研究事例などに基づき、児童生徒の発達段階に応じた指導内容や方法について検討したいと考えている。

再質問 性的マイノリティに対し、市民の理解が必要と思うが。

### 教育長

保護者等への働きかけ・周知などに取り組みることにより市民に広がっていくものと考ええる。

※性的マイノリティ  
性のあり方が非典型的な人のこと。

### ※LGBT

女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、両性愛者(バイセクシュアル)、トランスジェンダーの頭文字をとった表現

## インクルーシブ教育の推進について



政和会  
大和 勝

①当市におけるインクルーシブ教育の現状は。②アダプテッド・スポーツを通じたインクルーシブ教育の推進についての考えは。

### 教育長

①各学校では、特別支援学級に在籍している児童生徒が障がいの特性に応じて国語や算数などを個別に学ぶ時間と、体育や道徳などを通常学級とともに学ぶ共同学習の時間とをバランスよく組み合わせた指導が行われている。

さらに、障がいの有無にかかわらず全ての児童生徒の学びやすさを保障するために、ユニバーサルデザイン視点を取り入れた授業に取り組むとともに、特別支援教育に係る指導の成果と課題を定期的に評価し、指導方法の工夫改善に努めている。

教育委員会としては、特別支援教育コーディネーターと特別支援教育専門家チームとの合同会議、特別支援教育スーパーパーバイザーによる研修など、教師の特別支援教育に関する専門性の向上に努めている。

また、各学校の実情に応じて特別支援教育支援員や医療的ケアを必要とする児童生徒に対し学校看護師を配置するなど、児童生徒一人一人の

教育的ニーズに応じた合理的配慮がなされるよう指導体制を整備している。

②現在、小中学校14校でブラインドウォークや車椅子体験などの障がい理解の学習や、小学校1校では、一昨年度から北海道教育大学岩見沢校との連携により、ゴールボールなどのアダプテッド・スポーツを体験する学習に取り組んでいる。

児童生徒がアダプテッド・スポーツを体験することは、障がいに対する理解を深める機会となり、教育委員会としては、教育大学とのさらなる連携により、児童生徒がアダプテッド・スポーツを体験する機会の拡充など、インクルーシブ教育の推進について検討してまいらる。

### ※インクルーシブ教育

障がいのある子どもを含む全ての子供に対して、子供一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を「通常の学級において」行う教育のこと

### ※アダプテッド・スポーツ

障がい者や高齢者等が参加しやすいように修正された運動やスポーツ

# 障がい者福祉への取り組みについて



市民クラブ  
増山 宣之

①障害者差別解消法施行後、岩見沢市においてはどのような取り組みがなされたか。②障がいのある人の差別解消や安全・安心な暮らしを実現するために今後、どのような取り組みを進めていくか。

## 市長

①昨年4月に「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する岩見沢市職員対応要領」を策定し、関係職員への周知を図った。

また、市では市内にお住まいの重度視覚障がいのある方に、点字や音声CDなどでお知らせをしたほか、障がい福祉や介護関係の事業所にも障がいのある方の安全確保について協力を要請したところである。

加えて、東京の地下鉄で盲導犬ユーザーの路線転落死亡事故が起きた際には、市と岩見沢障害者福祉協会会長が、JRバス事業者に直接赴き、視覚に障がいのある方の安全を確保するための配慮をお願いした。

このほか「視覚障がい者交流イベント」への開催支援、市職員や空知信用金庫の窓口職員を対象にした手話講座の開催、防災バンダナの配布、障がい者の芸術活動に関するフォーラムの開催、市庁舎での障がい者の芸術作

品の展示など多くの取り組みを行ってきた。

②市では、本年4月、他の福祉計画等を横断的に捉え、かつ、それらの上位に位置づけされる「地域福祉計画」を策定し、現在、障がいのある方の生活を支援するための具体的な計画である「障がい福祉計画」の見直しを進めているところであるが、障がいのある方に対する支援は、高齢者福祉や子育て支援など、あらゆる分野と密接に係している。

障がい福祉計画がより実効的なものとなるよう、各部の施策を横断的かつ総合的に網羅することで、「地域福祉計画」の理念である「人もまちも元気で健康」の実現につなげてまいりたいと考えている。

また、これまでも障害のある方が安心して暮らせるよう取り組みを進めてきたところであるが、今後においても、障がい者福祉施策推進懇話会を初め、多くの皆様との意見交換等を重ねながら、さらに取り組みを発展させ、障がいのある方もない方も、誰もが自分らしく暮らせる共生のまちづくりを進めたいと考えている。

# 公共施設マネジメントの進捗状況等とスポーツ施設の整備について



政和会  
榎館 竜哉

①公共施設再編の進捗状況と今後のスケジュールについて。②スポーツ施設はこれまでどのように修繕を進め、長寿命化を図ってきたのか。また、老朽化している施設の大規模改修、統廃合などについてその方針と考えは。

## 市長

①現在、策定を進めている「公共施設再編基本計画」

は、個々の施設について、建物の状態や利用状況、地理的な偏り、将来見通しなどに基づく施設評価を行った上で、その結果を踏まえた再編時期や方法までを示そうとするもので、実際の再編においては、統廃合、複合化、多機能化、施設規模の縮小、余剰スペースの活用、長寿命化改修、計画的な予防保全、民間への移管・譲渡、受益者負担の見直しといった多様な手段を想定しており、計画の中で施設ごとの最適な取り組みを位置づけながら、単なる施設の削減ではなく、利便性や機能の向上も図りながら、市民サービスの維持にも努めたいと考えている。

現在の進捗として、客観的・定量的な情報による評点化の作業を進めており、地域間のバランスや市民の意向等にも配慮し、最終的な「総合評

価」として、計画案をとりまとめる予定としている。

公共施設の再編は、市民生活に直結する問題であり、市民の皆様のご理解のもとでの協働による推進が不可欠であるため、市民の皆様に対する丁寧な説明や情報公開に努めるとともに、問題意識の共有や合意形成を図りながら、着実に進めたいと考えている。

②スポーツ施設の整備については、利用者が安全で快適に施設を利用できるように、施設を随時点検するほか、施設・設備の充実、機能強化を図ってきた。

これまでの主な取り組みとして、陸上競技場のトラックの改修などを行ったほか、暖房や給水管の設備を初めトイレの洋式化など、利便性の向上を図るため計画的に修繕等を実施してきた。

今後においては、策定を進めている「公共施設再編基本計画」を踏まえ、統廃合や長寿命化改修などの整備について個別の検討を進めたいと考えている。

## 不適切な事務処理や不祥事について



公明党  
齊須 正友

①不適切な事務処理ミスなどについて、どのように認識しその原因はどこにあるとお考えか。②再発防止に向けた考えは。③メンター制度等の検討が必要だと思いが市長の考えは。

### 市長

①事務処理ミスなどに対する認識については、今年度に入っても、公用車の車検切れや軽自動車税の過徴収が確認されるなど、いずれも職員の不適切な事務処理を起因としており、市民の皆さまや市政に混乱を招く結果になったものと考えている。

また、いずれも共通して、適正な手続きに基づいて事務を執り進めるといふ認識の不足が大きな原因で、職員個人の倫理観や法令順守に対する意識の低下など、行政を担う公務員としての責任と自覚の欠如がその根底にあるものと考えている。

②再発防止については、全職員に対し、徹底した法令順守に基づく、適正な事務執行体制の確立を求めるとともに、再発防止に向けた全庁的な取り組みとして、既に、法制、財務、人事、情報管理などコンプライアンスを推進する上で中核となるセクショ

ンの職員により、内部統制機能に関する庁内検討委員会を設置し、内部統制の具体的な運用方法について検討を開始したところである。

現在、検討を進めている内部統制については、「業務の適正を確保するための体制」を構築するものであり、事務のルール化あるいは業務プロセスの整備を進め、市の実態にあった運用方法を確立することが重要と考えている。

③メンター制度など、さまざまな制度事例については、課題となるリスク管理やコンプライアンスの徹底を主眼に置いた、より実効性のある内部統制の検討を最優先に、取り組みを進めてまいりたいと考えている。

### ※メンター制度

会社や配属部署における上司とは別に指導相談役となる先輩社員が新入社員をサポートする制度



## 生活保護行政について



日本共産党議員団  
山田 靖廣

①生活保護世帯数及び受給者数等は。②高齢受給者の状況は。③生活保護世帯に対する市民からの情報への対応は。④厚生労働省からの調査等への対応は。⑤生活困窮者に対して正確な情報どのように伝えてきたか。⑥生活保護制度に対する情報などの周知には改善が求められるのではないか。

### 市長

①平成29年3月時点では、

保護世帯数が1569世帯、受給者数は2087人、保護率が2・5%となっており、高齢者世帯は52・1%に当たる818世帯、そのうち単身世帯が756世帯、2人以上の世帯が62世帯となっている。

②高齢者世帯のうち、7割の552世帯で何らかの年金を受給しており、無年金は3割の266世帯であるが、年金を受給している全世帯においても、最低生活費の不足分を保護費で支給している。

③生活保護受給者のパチンコなどの遊興については、担当課に通報や苦情をいただくことがあるが、生活費を過度に浪費するおそれもあることから、従前より事実確認を行った上で、必要に応じて支出の節約に関する

る助言・指導を行っている。

④本年4月に実施された厚生労働省の調査には、パチンコ等を行うことに対する被保護者への助言や指導の平成28年度の実績として10件を報告した。

⑤生活保護制度の周知については、市のホームページへの掲載のほか、担当課の窓口において掲示物による周知を行っている。また、平成25年10月より「生活サポートセンターりんく」を開設し、生活困窮者の相談の際に、必要に応じてりんく相談員による制度の説明を行うとともに、担当課の連携により、要保護者に対する生活保護の相談・適用を行っている。

⑥民生委員・児童委員の研修会などにおいても、保護制度の周知や要保護者の情報交換などを行っており、保護の相談にもつながっている。

再質問 生活保護受給者のパチンコなどの遊興についての調査に当たっては、人権に配慮した対応が求められるが。

### 市長

人権に配慮した対応をしている。

# バス路線の再編と今後の公共交通等について



日本共産党議員団  
上田 久司

①市民懇談会の参加人数とそこで出された意見とその対応について。②再編後、ルートから外される路線への対応は。③循環路線の市民周知はどうか。考えか。

## 市長

①市内10カ所において開催した市民懇談会の参加人数は、全体では133名であった。

懇談会では、ルートや停留所、ダイヤや便数など、全体で60件のご意見をいただいた。ルートや停留所に関しては、新たに導入を予定している四つの循環路線や、運行の安定性と定時性の向上のための狭隘箇所や迂回ルートの解消等について、一定の評価をいただいている。

また、ダイヤや便数については、これまでより遅い時間に終発便を設定したことについて、通勤や学習塾の送迎等の点から利便性が高まるとの評価をいただくなど、路線再編の基本的な考え方について、概ね理解が得られたと考えている。

②バス路線の再編は、市民の皆様のためである公共交通の効率性と安定性の向上、地域におけるバス路線の維

持という公益性から行おうとするものであり、今回の見直し案も、個々の市民にとっての利便性に差が生じることを踏まえて、なお、地域全体の利益を守るという観点から作成したものであるということを、しっかりと説明した上で、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

③今回の路線再編で導入を予定している、四つの循環路線については、懇談会等でのご意見も踏まえ、目的地や路線をわかりやすく掲載したバスマップの作成、系統番号の導入、停留所では、左右両回り路線を含めた、わかりやすい路線案内表示など、利用を促進する意味合いからも周知を徹底してまいりたい。

再質問 市民懇談会で出された意見を踏まえた今後の流れは。

## 市長

次回の協議会では、各市民懇談会で出された全ての意見をご報告し、議論が整理され次第、バス事業者から陸運局への申請、その後、バス路線が確定したら、再度説明会を開いていくことになる。

## 平成28年度 政務活動費収支報告 (平成28年4月～平成29年3月)

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に交付されるもので、岩見沢市議会では会派に対して議員1人当たり月額1万円(年額12万円)を年度当初一括で交付しております。各派から提出されました収支報告書に基づき、収支の状況をお知らせしております。また、会派別所属議員については、4ページをごらんください。なお、平成28年度分から視察及び研修に係る政務活動報告書を市議会ホームページで公開しています。

(単位:円)

会派名	市民クラブ (9人)	政和会 (7人)※	公明党 (2人)	日本共産党議員団 (2人)	無所属 (1人)	計 (21人)	
政務活動費交付額	1,080,000	930,000	240,000	240,000	120,000	2,610,000	
支出内訳	調査研究費	768,244	548,940	0	235,680	74,850	1,627,714
	研修費	311,756	0	30,000	0	35,050	376,806
	広報費	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	67,608	0	0	67,680
	資料購入費	0	0	0	0	10,100	10,100
	人件費	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	93,430	0	0	93,430	
支出合計	1,080,000	548,940	191,038	235,680	120,000	2,175,658	
残金(返還金)	0	381,060	48,962	4,320	0	434,342	

※平成28年12月の会派所属議員死去による人数の変更(政和会8人→7人)

### ◆政務活動費を充てることができる経費の範囲 ※一部抜粋

- 調査研究費 会派が行う市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費 会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 資料作成費 会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- 資料購入費 会派の行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 事務所費 会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

# 議会の構成が決まりました。

## 議会運営委員会

委員長 峯 泰教  
副委員長 野 尻 清  
委員 豊岡 義博  
" 平野 義文  
" 石黒 武美  
" 上田 久司  
" 齊須 正友

議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項などを協議しています。

## 常任委員会

### 総務常任委員会

委員長 平野 義文  
副委員長 大和 勝  
委員 太田 博之  
" 増山 宣之  
" 古石 英仁  
" 上田 久司  
" 齊須 正友

総務・企画財政・教育などに関する事項を所管しています。

### 民生常任委員会

委員長 野 尻 清  
副委員長 山田 靖廣  
委員 伊澤 幸信  
" 篠原 藤雄  
" 峯 泰教  
" 石黒 武美  
" 笹島 清一

健康・福祉・環境などに関する事項を所管しています。

### 経済建設常任委員会

委員長 豊岡 義博  
副委員長 酒井 和子  
委員 井幡 修一  
" 大坂 龍起  
" 谷口 洋一  
" 榎館 竜哉  
" 池島 和行

農業・経済・建設・水道に関する事項を所管しています。

## 特別委員会

### 総合計画・地方創生特別委員会

委員長 上田 久司 副委員長 石黒 武美  
委員 伊澤 幸信 大坂 龍起 増山 宣之  
峯 泰教 笹島 清一 古石 英仁  
大和 勝 齊須 正友

第1回臨時会において、地方創生特別委員会を総合計画・地方創生特別委員会に変更いたしました。

### 新庁舎建設特別委員会

委員長 谷口 洋一 副委員長 酒井 和子  
委員 太田 博之 篠原 藤雄 豊岡 義博  
平野 義文 榎館 竜哉 野 尻 清  
山田 靖廣 池島 和行

第1回臨時会において、新庁舎建設に関する必要な事項について調査、研究することを目的とし、新庁舎建設特別委員会を設置しました。

## 意見交換会の報告書をまとめました

本年2月15日と2月19日に開催いたしました「意見交換会～皆様の声を聴かせてください～」の実施報告書を市議会ホームページに掲載しております。当日来場された方々からいただいた意見、ご質問やアンケート結果等をまとめておりますので、ぜひご覧ください。

## 編集後記

広報広聴委員会委員長 酒井 和子

涼しい日々が続き、農作物の育成が心配でしたが、持ち直しているようです。

私共・19期議員は折返しとなり、各委員会等を入れ替えての第2回定例会でした。

広報広聴委員会としては、市民の皆様に、いかにして議会を認識・理解していただくか、また、先輩諸氏が積み上げてきた改革に磨きをかけられるか、課題多しです。

新庁舎建設事業も本格化し、これからのまちづくりを見据え、今後ますます、多様化する行政需要に即した質の高いサービスを適切に提供できるか、監視してまいります。

今後とも、市議会だよりが市民の皆様の情報の目となるよう努めてまいります。

【委員長】酒井和子

【副委員長】榎館竜哉

【委員】伊澤幸信

太田博之

豊岡義博

大和 勝

山田靖廣

池島和行

## 議会を傍聴してみませんか

本会議・委員会は当日に簡単な手続きを行うことで傍聴できます。いずれの会議も市役所本庁舎3階で行われます。

### ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議・委員会開催のお知らせ、議会報告会・意見交換会、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。

### 議会中継

本会議の様を生中継・録画中継しています。視聴に当たっては、ホームページの「市議会インターネット中継」にアクセスしてご利用ください。

第3回定例会は9月に開催します。

日程が決まり次第、ホームページや市内公共施設等に掲示するポスターでお知らせいたします。

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会

